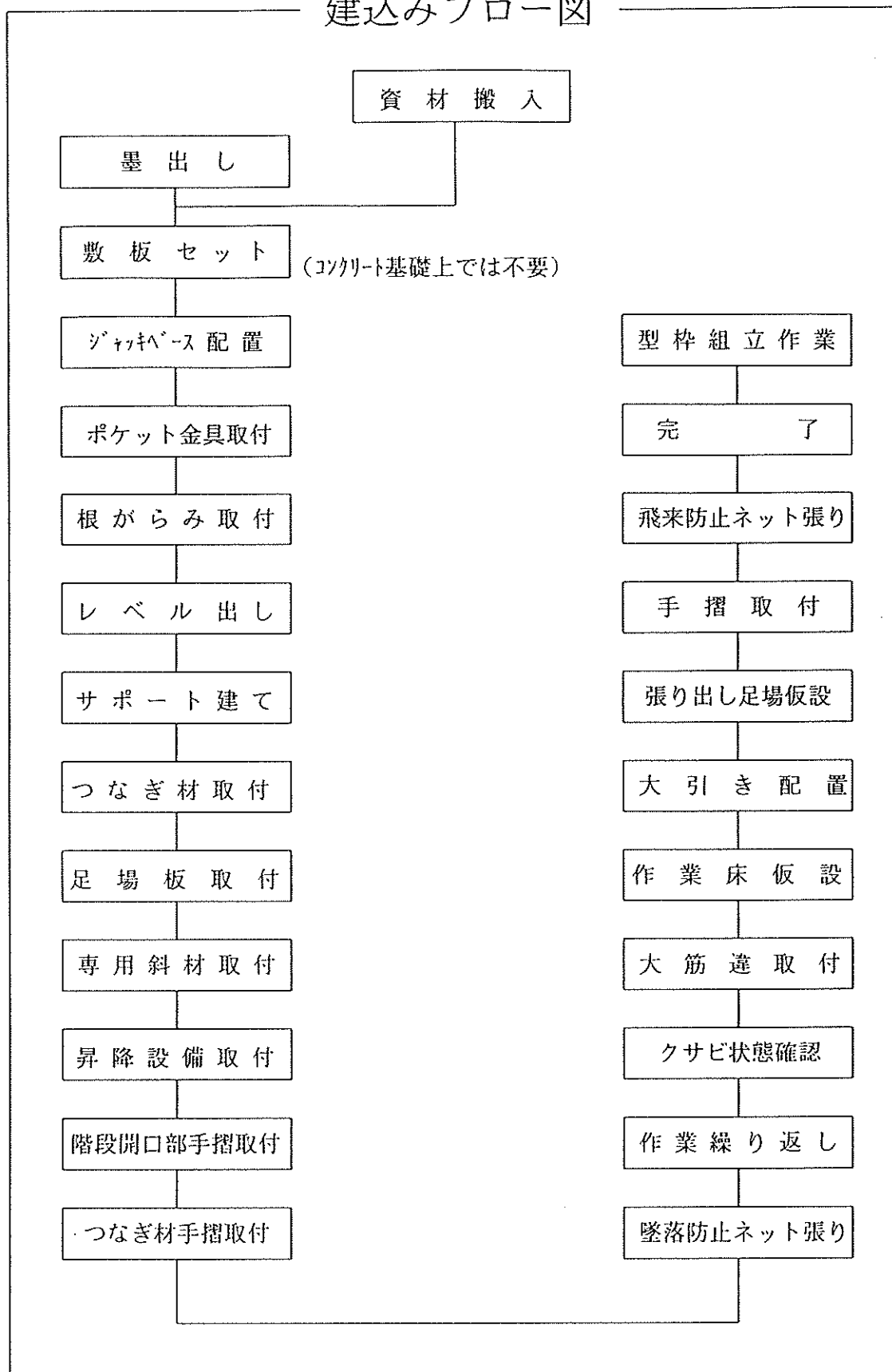


TSサポート施工要領書

平成 10年 1月

 住友金属建材株式会社

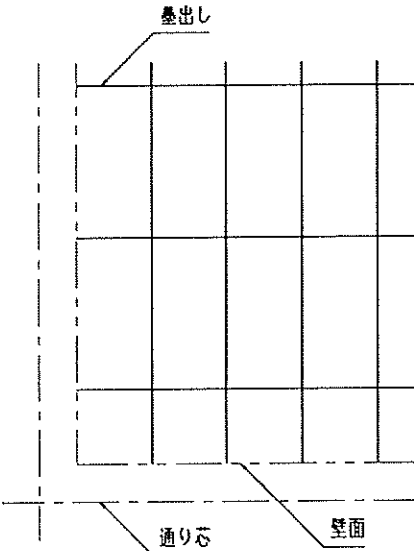
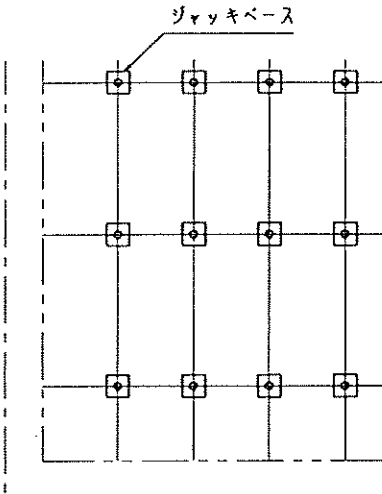
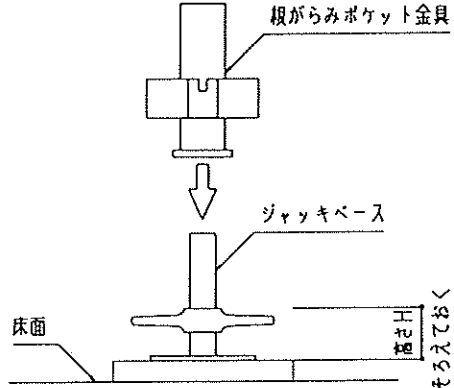
建込みフロー図

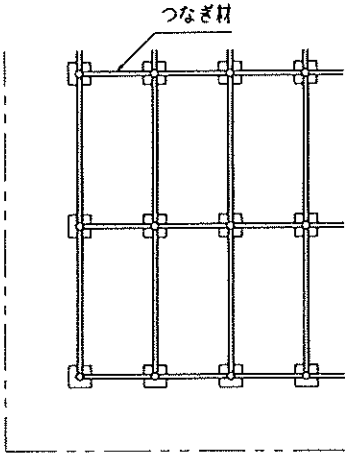
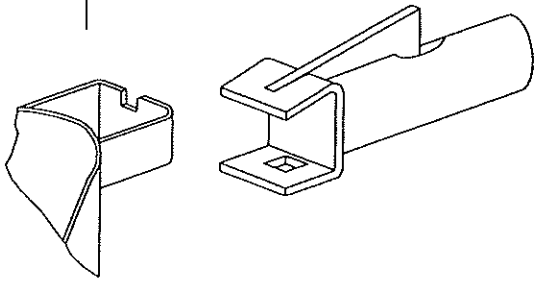
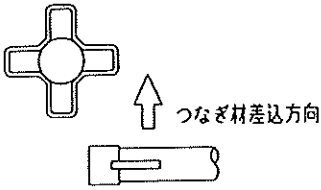
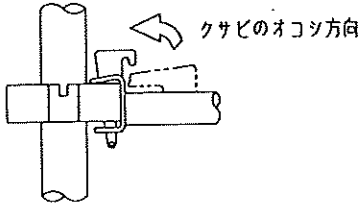
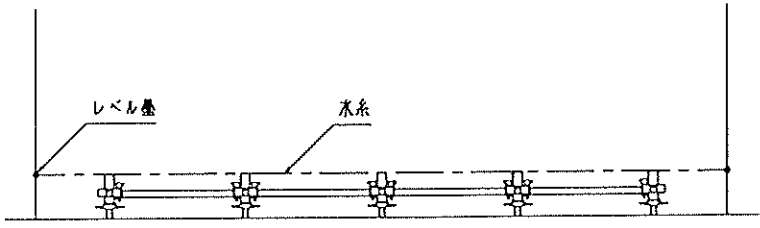


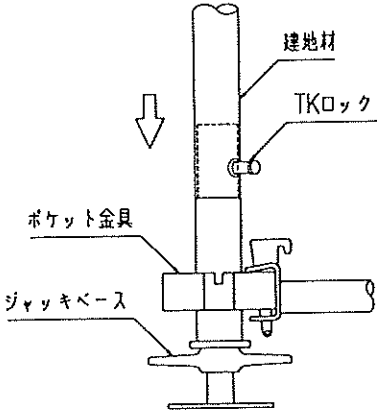
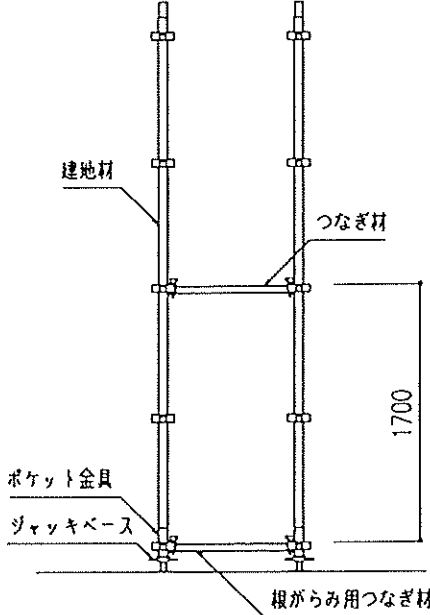
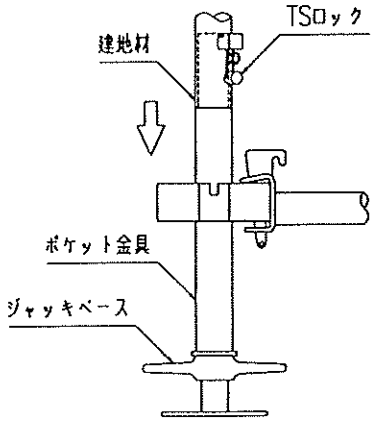
作 業 手 順

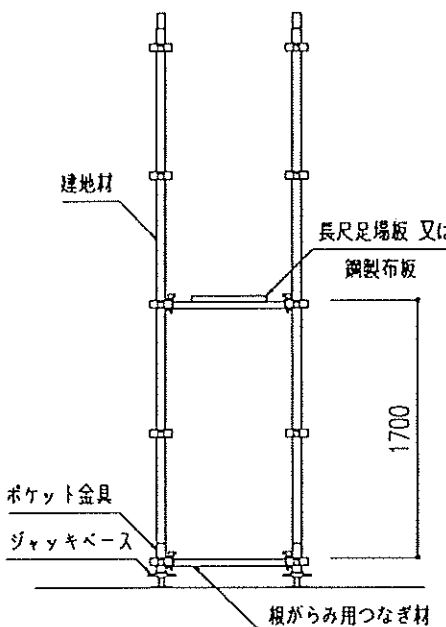
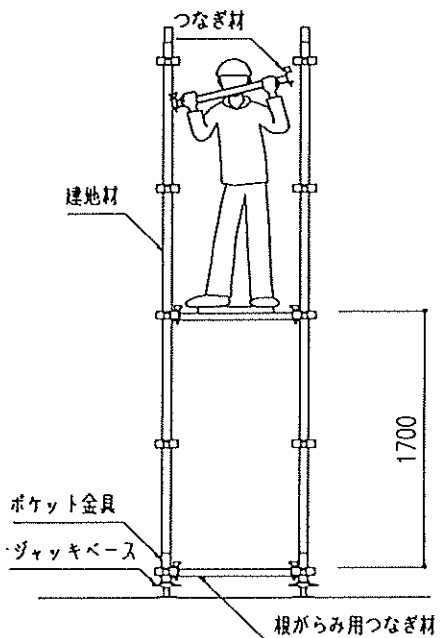
作 業 区 分	型 枠 支 保 工	会 社 名	
作 業 所 名		作 業 人 員	
資 格 免 許	型枠支保工組立作業主任者	使 用 機 械	なし
使 用 工 具	ラチェットレンチ、ソ、布袋 親綱、安全ネット #10m/m グリーンネット	保 護 具	安全帯、安全帽、 ヘルメット
使 用 材 料	TSサポート、単管パイプ、ジャッキベース、敷板、大引、足場板、クランプ、 パイプジョイント、巾木、番線		

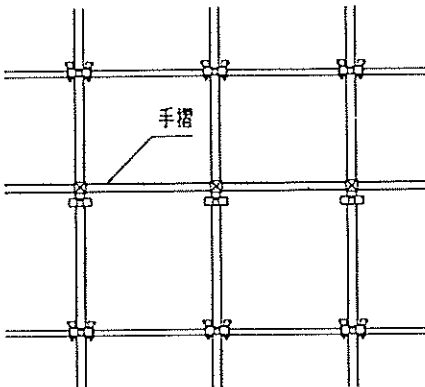
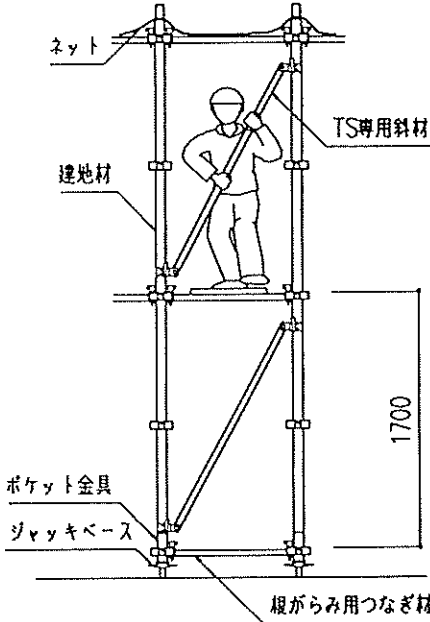
作 業 内 容	作 業 手 順	急 所
1. 準備 作業	1. 作業主任者及びメーカー側と作業着手前に担当職員とよく打ち合わせる。 2. 材料搬入日等の確認をする。 3. 作業員は作業前に TBM を行い、作業方法及び安全対策について話し合う。 4. 保護具の点検。	1. 作業計画書に基づいた作業員の配置。 2. 運搬経路・資材の仮置場所確認。 3. 作業手順の確認 4. 安全帽、服装、安全帯を正しく着用する。
2. 工具・ 材料の 確認	1. 始業前に工具の機能点検を行う。 2. 材料の欠陥の有無の確認。	2. 部材のへこみ、ジョイント不備等。

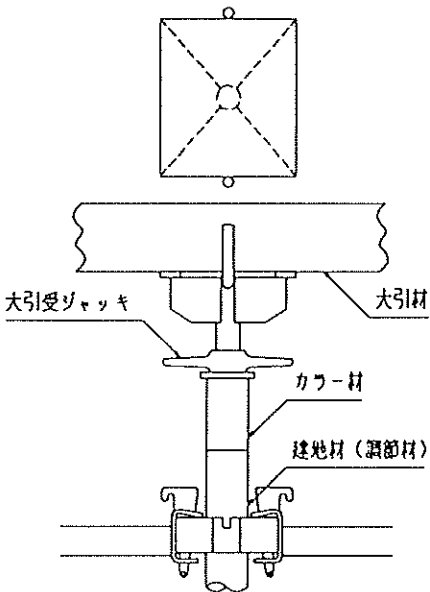
作業内容	作業手順	急所
3. 危険区域の立入禁止	1. 危険区域の立入禁止措置をする。	1. バリケード、安全ロープ等で区切る。 標識類を表示する。
4. 組立準備	1. 地盤を平坦にする。 2. 割付計画図に従い、サポートの位置を墨出しする。 3. 敷板等を敷く。 (コンクリート基礎上では敷板不要。)	1. 砂等で不陸を行う。 3. 地盤に合わせて敷板補強(鋼矢板等)
		
5. 組立作業	1. ジャッキベースを配置する。 2. ジャッキベースに根がらみポケット金具を差し込む。	1. ジャッキベースの高さは、概略揃えておく。
		

作業内容	作業手順	急所
	3. 根がらみポケット金具をつなぎ材にて締結する。  	・つなぎ材の納め方は、片寄で納めていく。 ・クサビの打込みはハンマー等で軽く2～3回打撃する。  
	4. 全面につなぎを取った後ポケット金具のレベル出しを行う。 	4. レベル出しが悪いと垂直精度が悪くなるので、注意する事。

作業内容	作業手順	急所
	5. ポケット金具に最下段のTSサポート（建地材）を差込む。 6. 建地のついた所より順次つなぎ材を取付ける。  7. つなぎ材はポケット金具より1700 mm以内ごとに取付ける。 	5. ロックピンは建込み時には、自動的にセットされる。 6. 建地材だけを先行しない。 ・2人1組で作業を進める。 ・建地材の納め方向は片寄で行う。 

作業内容	作業手順	急所
	8. 第1段目の床に長尺足場板又は鋼製布板をセットする。  9. 昇降設備を取付ける。 10. 1段目の床を利用して、次段のつなぎ材を取付ける。 外周回りの組立時墜落の恐れがある場合は、親綱等の安全装置を設置して作業をする。	8. 点検通路等必要位置に取付ける。(計画図参照) 又、場合によってはTS専用鋼製布板を使用する。 9. 手摺付アルミ階段等で行う。 又、階段上り口には開口部手摺を設置する。 

作業内容	作業手順	急所
	11. 手摺を取付ける。  12. 所定の位置に TS 専用斜材を取付ける。 大筋違（単管とクランプによる斜材）の場合 17. 項にて取付ける。 13. 墜落防止ネットをつける。 14. 第 1 段目の建地高さまで作業が終了したら、第 2 段目の建地材を差し込む。 以下 6～12 の手順にて作業を進める。	11. 外周点検通路、開口部等（計画図参照） 場合によっては手摺フレームを使用する。 12. 計画図に従って設置する。  13. 第 1 段目のジョイント部に網目を差し込む。

作業内容	作業手順	急所
	15. 以下計画図に従い所定の高さまで繰り返し作業を行う。 16. 組み上がったらクサビの状態を確認する事。 17. 組み上がったら斜材を取付ける。 18. 作業床を設け固定状態を確認する。 19. カラー材を差し込み大引受ジャッキを取付ける。 	16. ゆるみ等の恐れがあれば、クサビを手で左右に動かしてみる。 ガタ付のある時は再度打込む。 17. 計画図参照 斜材取付角度を絶えず守る事。 18. 長尺足場板の場合は 3 点指示、ゴムバンド等で緊結固定。 19. 建地材のホゾ材には必ずカラー材をセットして大引受ジャッキを取付ける。

作業内容	作業手順	急 所
	20. 張ね出し足場を設置する場合は TS 用ブラケットを建地材に固定する。 21. 鋼製布板又は、長尺足場板を取付ける。 22. 手摺を取付ける。 手摺間隔は 45cm 以内とする。	20. 2 人 1 組で作業を行う。 21. 鋼製布板又は、長尺足場板は 1 段下より取付け固定を確認する。 22. 安全帯の使用。

1. 解体手順

(1) 解体前の注意事項

- ① 作業主任者は作業員を適切に配置し、保護帽・安全帯を正しく着用させ、作業内容・安全上の諸注意を説明し徹底させる。
- ② 適切な工具器具等（ハンマー・荷揚げ用ロープ…）を準備する。

(2) 解体手順

- ① 専用斜材、単管つなぎ等の補助材を取りはずす。
- ② 最上段のつなぎ材をはずす。
（事前に布板または足場板、階段等をはずしておく）
- ③ 大引受ジャッキのハンドルを回してゆるめる。
- ④ 根太材を抜き取る。
- ⑤ 大引材を抜き取る。
- ⑥ 建地材の抜け止めロックを解除する。
- ⑦ 引受ジャッキ・カラー材・最上部の建地材を一体として抜き取り、落ちないようにゆっくりと下ろす。
- ⑧ 布板または足場板、階段などをはずす。
- ⑨ つなぎ材をはずす。
- ⑩ 建地材の抜け止めロックを解除する。
- ⑪ 建地材を抜き取る。
- ⑫ ⑧～⑪を繰り返し解体していく。

2. 部材の搬出

部材の運搬に際して、荷くずれや部材の損傷がおきない様に梱包する。